

日本の非伝統的金融政策と 国際金融システム安定に向けた取り組み

カンザスシティ連邦準備銀行主催シンポジウム
における講演

2013年8月24日

日本銀行総裁
黒田 東彦

図表1

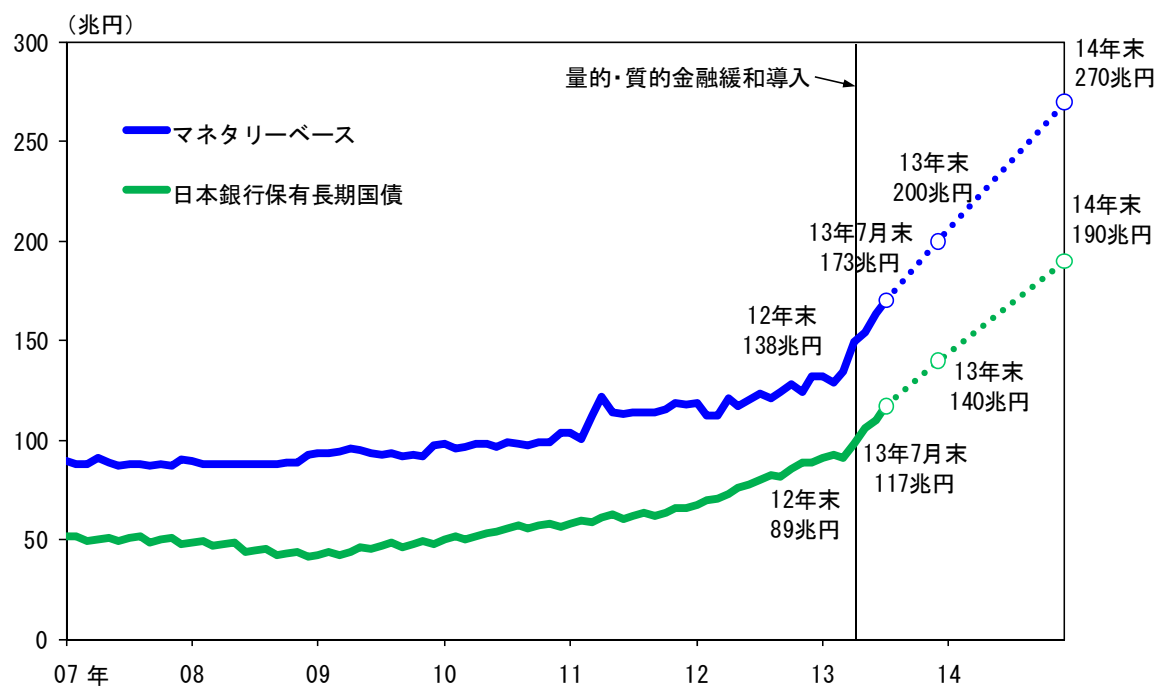
アウトライン

1. 日本の非伝統的金融政策
2. 非伝統的金融政策と実質金利
そして自然利子率
3. 非伝統的金融政策と国際金融市場

「量的・質的金融緩和」

- 2%の物価安定目標を、2年程度で実現
- 「量」の拡大
- 「質」の変化

マネタリーベースと長期国債保有残高



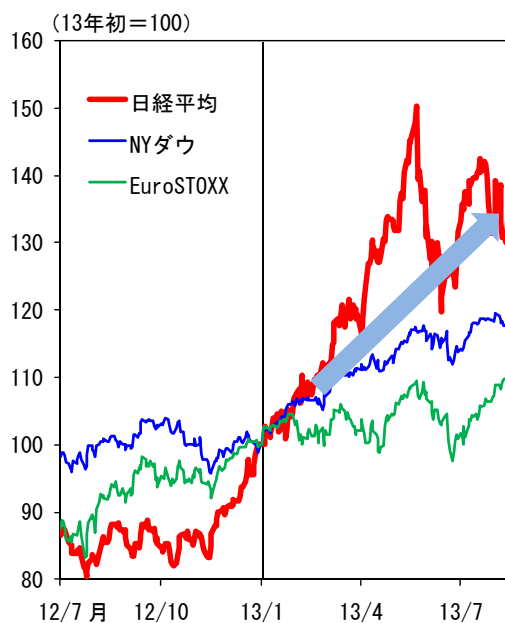
(資料) 日本銀行

足元までの評価：3つの好転

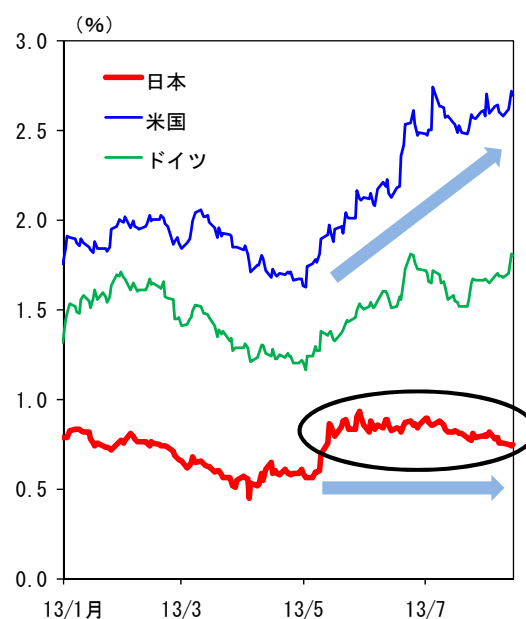
- 金融の好転
- 期待の好転
- 経済・物価の好転

株価と長期金利

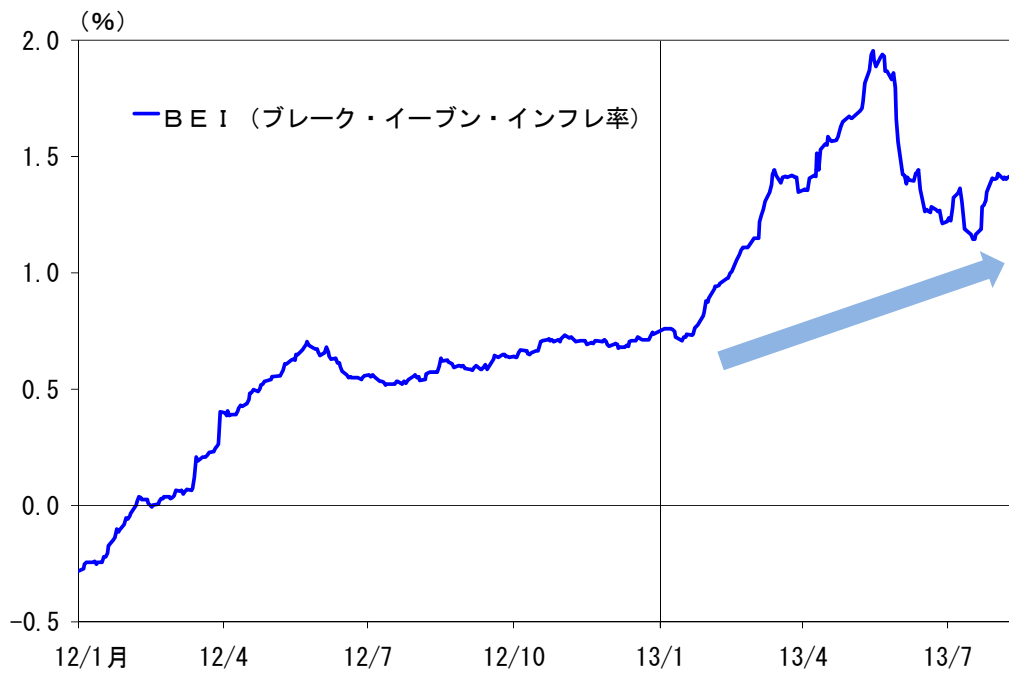
株価



長期金利



市場の予想物価上昇率

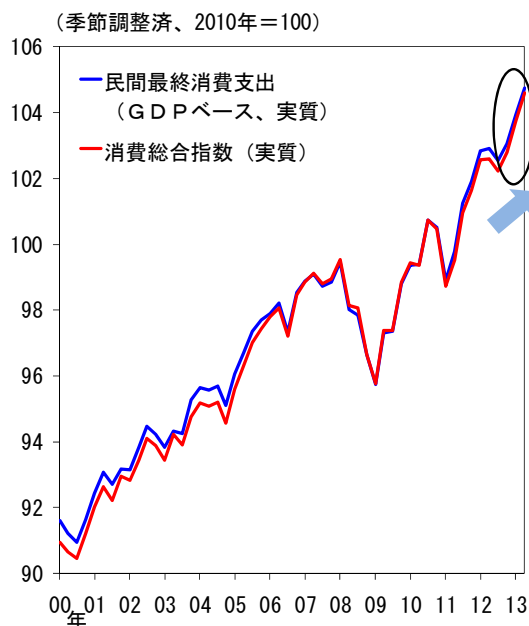


(注) BEI = 固定利付国債利回り - 物価連動国債利回り。各時点で残存期間の最も長い物価連動国債の利回りを使って算出 (足もとでは5年物が最長)。

(資料) Bloomberg

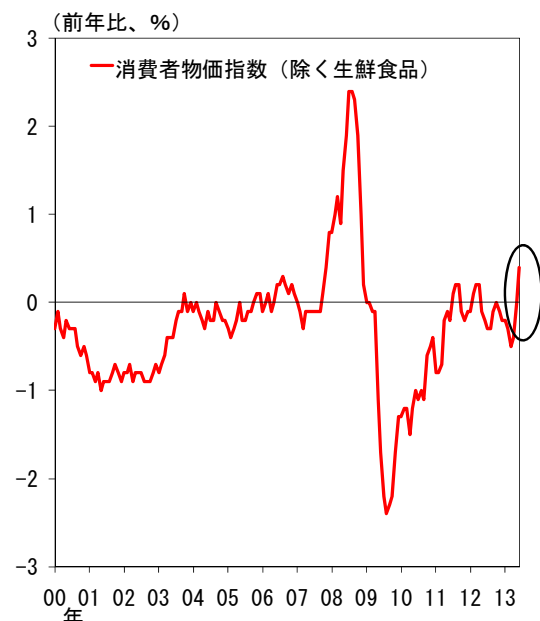
個人消費と物価

個人消費



(資料) 内閣府、総務省

消費者物価



非伝統的金融政策と実質金利 そして自然利子率

- 実質金利の引き下げ
- 自然利子率の上昇

非伝統的金融政策と国際金融市場

- 非伝統的金融政策と国際資本フローの関係
- 中央銀行間の国際協力